

春めきファイリピンへ

南足柄の網島さん夫妻が贈る



バギオ市で行われた贈呈式。6月25日、マリアさん(右)と石繁さん(左)

南足柄市の網島繁さん(73)、敦子さん(70)夫妻が今春、ファイリピン・バギオ市に甘い香りを伴

う早咲きの桜「春めき」の苗木12本を寄贈。木の成長ぶりはメールなどで網島さん宅に定期的に届いており、夫妻は現地の人たちが注ぐ桜への愛情に目を細めている。

桜を贈るきっかけは、高校の英語教師をしていた繁さんが退職後の12年から2年間ファイリピンで日本語を教えたこと。

当時所属していた団体の上司からの月頃に「ファイリピンに桜を植えたい」と活動している人がいる。誰か協力してくれないか

と連絡があった。

夫妻は南足柄市で春めき(さくら)を栽培している古屋富雄さん(65)に相談したところ快諾を得て、無償提供を受けた。

ファイリピンで桜を待ち望んでいたのは、繁さんとも知己であったバギオ市のマリア・ススキさん(75)。亡き夫の鈴木光一さんは、戦後の日系人を支援する活動をしており、同国に桜を咲かせるのが悲願だったという。苗木はバギオ市のゴルフ場やマリアさんの母校の修道院に贈られ、順調に生育している。

夫妻は、桜が両国の交流や平和につながればと夢を膨らませている。